

標 題 : Biological Relevance of Extra Virgin Olive Oil Polyphenols Metabolites
エクストラバージンオリーブ油のポリフェノール代謝産物の生物学的関連性

著 者 : G. Serreli and M. Deiana (イタリア カリアリ大学 生体医科学部)

掲 載 誌 : Antioxidants. 2018 Nov 22; 7(12): 170

要 旨 :

エクストラバージンオリーブ油のポリフェノールの有益な効果は過去 30 年間にわたって広く論議されており、ヒドロキシチロソールおよびチロソールが大いに注目され、それが最も研究された。

エクストラバージンオリーブ油のフェノール活性の *in vitro* および *in vivo* での評価に関する主な関心事は、ヒトの体内に吸収されてから別の代謝産物の生成につながるこれらの化合物の吸収および代謝である。

摂取された型のエクストラバージンオリーブ油のフェノールは、そのグルクロニド、硫酸塩およびメチル代謝産物よりもヒトの組織に濃縮されにくい；その一方で、代謝産物は細胞に入る前に脱共役を受けて遊離型として作用するか、または細胞内で再構成されて共役型として作用する可能性がある。

大部分の *in vitro* 研究で、メチル/硫酸塩/グルクロニドの官能基は生物活性を抑制しないとみられる。

親化合物および代謝産物は抗酸化性および補足性以外の有益な効果を発揮するのに役立つ組織の濃度に達すると示され、細胞内シグナル伝達の調節および酸化ストレスと炎症促進性刺激に対する細胞反応の改善による。

この総説は、主なエクストラバージンオリーブ油のポリフェノール代謝産物によって発揮される好ましい効果の報告済の証拠に関する概観を、その親化合物との比較で示すことを目的とする。

キーワード : エクストラバージンオリーブ油、ホモバニリン酸、ホモバニリルアルコール、ヒドロキシチロソール、代謝産物、ポリフェノール、チロソール
